

フェアトレード

ジャパンアフリカトラストでは、現地事業地のカカメガ群からのフェアトレードを行います。アフリカイストの効いた、ハンディークラフト雑貨から、アフリカの風土が生活に必要の日用品の現地製造および販売を現地の生活向上という視点から推進していきます。



年間行事

- 1月 新年会
- 3月 理事会
- 5月 総会
- 6月 ケニアの環境文化のセミナー
- 7月 スタディーツアー・インターン
- 8月 チャリティーコンサート
- 9月 愛フェス出展
- 10月 ワールドコロボフェスタ出展
- 11月 ケニア料理教室
- 12月 国際理解教育セミナー



ジャパンアフリカトラスト団体概要

ジャパンアフリカトラストは2011年に、医療・食品・国際協力・教育などの異業種で活躍するスタッフとアフリカ人で設立されました。異分野同士の経験・知識をあわせて、社会的問題に取り組んでいます。ケニアでは農業技術支援事業や教育支援事業を、国内では多文化共生事業として国際理解教育講座を行います。アフリカの貧困問題に取り組むと同時に、日本人の国際的活躍を推進しています。



あなたもJATの活動に参加しませんか？

ジャパンアフリカトラスト(JAT)では、国内事業と海外事業に分かれて活動しています。国内事業では主に、国際理解教育・フェアトレード・多文化共生・国際交流・チャリティーイベントなどの活動を行っています。海外事業では事業地での企画運営・インターンシップなどを行っています。

日本とアフリカを結び、新しい流れを作るJATの活動に、会員として参加しませんか。

会員の方々には、以下の特典があります。

- ①JATが主催する各種催しへの優先参加
- ②JAT事業に関する情報
- ③アフリカの現場からの最新情報
- ④アフリカでの社会貢献・社会的投資活動に関する相談サービス

会費

正会員 10,000円
賛助会員 3,000円

三菱東京UFJ銀行 土古支店
普通預金 口座：0067601
名義：特定非営利活動法人
ジャパンアフリカトラスト

ご寄付

ご寄付金額は、1口3000円です。
農業試験場へのご寄付は、ハウスへ名前を入れさせていただきます。

特定非営利活動法人

ジャパンアフリカトラスト Japan Africa Trust Inc.

(事務局)

〒455-0882
愛知県名古屋市長区小賀須四丁目1003-1-203
Tel & Fax: 052-710-7479
Website: <http://jat-jp.org>
Email: info@jat-jp.org
Blog: <http://blog.canpan.info/jat/>
Facebook: JAT



Japan Africa Trust



One World One Nation

JATは日本とアフリカを結び、新しい流れを作る国際協力NGOです

ジャパンアフリカトラストとは

ジャパンアフリカトラストは東アフリカ、とくにケニアで農業支援を通し貧困問題に取り組む国際NGOです。現在、ケニアの失業率は48%で適当な職を得るのが難しい状況にあります。親が収入を得られず子供を満足に育てることができない結果、路上生活をする子供達・いわゆる「ストリートチルドレン」が激増しており、その数は約20万人とも言われています。国のセーフティネットも確立しておらず、貧困で生まれた者が貧困から抜け出すのは容易なことではありません。



ジャパンアフリカトラストは一方的な支援ではなく、農業を通して現地に雇用を生み、貧困層に仕事の機会を与えることで、彼らが貧困から抜け出し自立した生活を行うきっかけを提供します。ただ受け身の支援ではなく、彼らが自ら立ち上がることをサポートすることにより、「お父さん、お母さんが子供たちのために一生懸命に働ける」、そういったことが子供たちの未来を確実に開くと信じています。

さらに農業支援プロジェクトで得られた収益は、彼らや子供たちの教育活動や保健衛生活動に使われ、いわゆる社会的投資を実現します。このように収益事業を通じた住民の自立支援は今後の新たな取り組みとして注目されています。

国際協力事業の使命は、貧困地を支援と同時に、日本のさらなる発展です。海外での活動や交流を展開することにより、日本人が国際的にさらに活躍することを目標としています。

皆様からのご支援が、日本から遠い、けれども確実に存在し生きている、地球の裏側の人々に笑顔をもたらすものと信じております。

皆様のご支援を心からお願い申し上げます。



マイクロエンパワメント事業



ジャパンアフリカトラストのグリーンプロジェクトでは、農業技術の支援と、植林による水確保をはじめとした環境保全を行います。農業試験場としてグリーンハウスを設置し、生産・消費・収益性の高いトマトを先進的技術で栽培実演デモンストレーションし、研修場として貧困農家の若者を受け入れます。3か月の研修後には地元に戻って、マイクロクレジットの援助を受けながら高収益事業を広めるマイクロエンパワメント事業によって、社会的投資を実践します。得られた収益はすべて現地の生活向上と次のハウスの資金、植林事業として循環します。

ビクトリア湖近くのカカメガの森は、かつてアフリカ最高の美林といわれていましたが、1970年以降の30年間で20分の1となりました。森林減少に伴う



樹木による保水力が失われる結果、土壌栄養分の流亡や洪水、崖崩れを引き起こし、水質・大気浄化能力を低下させています。

また1963年のケニア独立以来、農業はケニア経済の頼みの綱と呼ばれています。しかしながら、高い人口増加率、農業に適した土地の縮小、乏しい技術の為、大規模農業以外の農業収益率は非常に低いという問題があります。



国際理解教育事業

外国人スタッフによる小・中学校などへの出張出前講座として、海外の環境や文化やアフリカ料理などの国際理解教育講座を行っています。ケニアのムワンバ小学校でも同時に理解教育を行っており、交流しています。

また、カカメガの現地ハウス事業地へのインターンやスタディーツアーの受け入れや、国内のJAT大豆畑での農業実習を行っています。



(刈谷南中学校)



(ケニア無ワンバ小学校)



(ケニア無ワンバ小学校)



(アフリカクイズ)

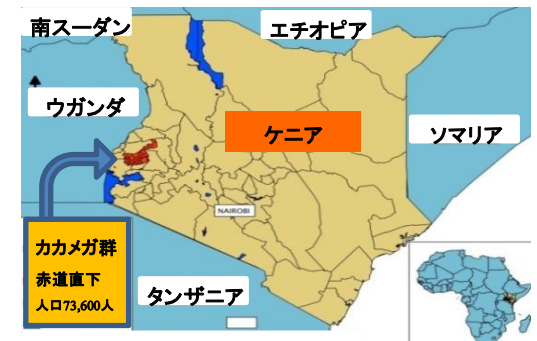


(MYだいず畑 種まき)



(核豆収穫)

プロジェクト地



ケニア西部州カカメガ郡中央部は、ケニア47郡の中で2番目に人口が多く、非常に面積は狭いです。気候は良いのですが、貧富の差が激しく、事業の必要性が高く求められる地域です。